



春夏秋冬

JP労組新潟連協退職者の会第2回定期総会

2016年度 活動計画 (案)

はじめに

会員の皆さま、「なんば奨二」氏が2期目の当選を果たしました！

得票数は、191,823票、民進党内で第6位（連合候補第5位）という、高位での当選となりました。新潟県では6,503票を獲得し、6年前の参議院選挙の獲得票を上回ることができ、「なんば再選」に貢献することができました。

また、新潟選挙区では、「森ゆうこ」氏が、大変な激戦を制してみごとに当選を果たしました。

私たち退職者の会の全会員が一生懸命に頑張った結果です。みんなで健闘をたたえ合いたいと思います。

連協幹事会は、改めて会員の皆さま、並びに全支部・ブロックの役員の皆様のこれまでのご協力とご努力に、心から感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

一方で、選挙結果を見ると、憲法改正（悪）を目指す勢力も議席を伸ばしており、衆議院の状況と合わせ、今後どのような暴挙に出るか予断を許さない状況は継続しています。今後とも、国会内外の動きを注視していかなければなりません。

さて、私たちは、2014年7月にJP労組新潟連協退職者の会が発足して以降、自払い制度の導入、支部・ブロック組織の確立を始めとした「組織基盤の確立」、「なんば奨二氏再選に向けた取り組み」を集中して取り組んできました。

誕生したばかりの組織としては、大変ハードな取り組みの連続の二年間でしたが、支部・ブロックの役員及び会員の皆さまのご協力により、順調に推移し、その成果も各所で確認できます。

今後は、確立した組織基盤の上に立ち、退職者の会の設立の目的である交流と親睦を深めるための取り組みを、継続して進めていくこととします。そのために、この間の取り組みを振り返り、継続するもの、深めるもの、新たに始めるもの等を話し合い、「退職者の会があってよかった」と思っただけの組織にしていきたいと思えます。

以上の考えの上に立って、新潟連協退職者の会の2016年度の活動計画を以下のとおり提案いたします。

と き：2016年8月18日(木) 10:30～

と ころ：新潟東映ホテル

1 連協幹事会の取り組みについて

(1) 連協幹事会の開催

連協幹事会は年4回開催し、連協の取り組みを実践するための企画等を行います。幹事会では、支部・ブロックの取り組みの交流や勉強会も行います。

(2) 四役会議の開催

連協幹事会の前段に四役会議を開催し、連協幹事会への提案内容を協議し、意識統一を行います。

(3) 支部代表者会議の開催

支部代表者会議を年2回開催します。退職者の会を結成して2年が経過しましたが、支部・ブロックの活動の交流を行うとともに、支部組織等について点検等を行います。また、退職者の会の活動の在り方等について議論します。

(4) ブロック別交流集会の開催

ブロック別交流集会を開催し、支部・ブロックの活動の交流を行うとともに共済の勉強会を行います。

(5) 機関紙の発行

機関紙「春夏秋冬」を年4回発行します。(2016年9月、11月、2017年1月、5月を予定)

機関紙編集委員会を開催し、機関紙の内容等について議論します。

(6) サークル活動

「悠友会」主催の第2回ゴルフ大会(2016年10月3日・中峰ゴルフクラブ)の成功に向けてサポートします。

において自主目標を設定して取り組んだ結果、2015年度は48名の会員を拡大することができました。

会員の拡大はこれまでと同様に最重要課題です。日常的に声掛け等の働きかけを行うとともに、3月末や9月末の節目の時期には、引き続きJP労組と一体となって退職者の会への加入を勧めます。

(2) 「予約会員」制度の運用の拡大

① 退職後に再雇用や期間雇用で働くことが一般化しており、退職者の会の会員を「本会員」「経過措置会員」「予約会員」と分類し、加入申込書等の取り扱いについても整理してきました。

また、「予約会員」から「本会員」への移行がスムーズに行われる支部・ブロックも出始め、会員拡大に繋がる制度として定着しつつあります。

② 一方で、勧奨退職等で職場を離れる人もおり、年齢が若いこと等から本会員加入をためらう人がいる現状もあります。

このような状況を考慮し、勧奨退職等で退職した人を対象にして、60歳までを上限に「予約会員」として登録し、機関紙の配布や各種行事へのお誘い等で繋がりを持ち、60歳までに本会員に移行していただくというように予約会員制度の運用の拡大を可能とします。

なお、この運用の拡大は会員拡大の機会を広げることが目的であり、本来は本会員に加入していただくことが前提であり、それによりがたい場合の適用とします。

(3) 会員名簿の現行化

「会員名簿の現行化は組織の基本である」

2 会員の拡大の取り組みについて

(1) 会員拡大の取り組み

2016年4月1日現在の会員数は2,331名であり、1年間で61名の会員が減少しました。減少については、お悔やみが76名あったこと、名簿の整理が進んだこと等によるものです。

会員拡大については、各支部・ブロック



2・21新潟連協大集会(2016年2月21日)

との認識に立って、会員の動きが出た場合、直ぐに支部・ブロックの名簿の現行化を行うとともに、連協へ所定の報告用紙（新退会費 様式3）により報告し、連協の台帳も現行化します。

3 政治課題の取り組みについて

- (1) 安倍自公政権の横暴を阻止し、安保関連法案を廃止し、憲法改悪を許さず、平和と立憲主義を守るために、要請された行動には積極的に取り組みます。

また、年金・医療・介護等の社会福祉を増進させる取り組みにも、積極的に対応します。

- (2) 「みらい研」（JP労組の政治団体である郵政未来研究会）への加入拡大についても、継続して取り組みます。

4 平和活動の取り組みについて

JP労組退職者の会及びJP労組信越退職者の会から要請のある平和活動を取り組みます。

5 退職者連合との連携強化について

- (1) 連合新潟高齢者協議会の組織改編等について理解を深めるとともに、これまで通り要請行動等には積極的に参加します。

- (2) 地域高齢協の役員については、関係するJP労組支部及び退職者の会と協議して積極的に担い、地域活動に参加します。

また、「地域高齢協派遣役員交流会」を実施し、地域高齢協の活動を学び合います。

6 JP共済生協の取り組み及び地域福祉の取り組みについて

- (1) JP共済生協が、会員にとってより身近な助け合いの存在となるために「共済担当者会議」を設置します。

「共済担当者会議」は、連協幹事会からの要請に基づき、共済の理解を深める取り組み、会員の生活の変化や現状に合わせて、加入商品の見直しや新規加入についての提

言等を行います。

活動を進めるに当たっては、昨年行った共済についてのアンケート等を参考にするとともに、共済地方部の助言もいただきます。

共済担当者会議は年2回程度開催します。

- (2) JP共済生協の商品（制度改正や新規商品）や地域包括ケアシステム等についての勉強会を、各種会議の中で実施します。
- (3) 労働金庫、総合生協と連携し、地域における安心・安全な生活を築きます。

7 各種会議の開催について

- (1) 連協幹事会
第1回 2016年9月
第2回 2016年12月
第3回 2017年2月
第4回 2017年5月
- (2) 四役会議
年4回、連協幹事会の前段に開催します。
- (3) 支部代表者会議
第1回 2016年10月
(事務局長・会計担当者会議)
第2回 2017年3月
- (4) 機関紙編集委員会
2016年9月（第1回幹事会の前段）
- (5) 共済担当者会議
2016年11月 2017年2月
- (6) ブロック別交流集会
2017年4月
- (7) 地域高齢協派遣役員交流会
2017年5月
- (8) JP労組新潟連協退職者の会第3回定期総会
JP労組新潟連協第10回定期総会終了後に開催します。



中越ブロック交流会（2016年4月13日）

2016年度JP労組新潟連協退職者の会一般会計予算（案）

(2016年4月1日～2017年3月31日)

【一般会計収入の部】

項 目	予 算 額	摘 要
繰越金	1,034,991	
会費	2,106,000	2,106名×1,000円
雑収入	100	利子
合 計	3,141,091	

【一般会計支出の部】

項 目	予 算 額	摘 要
総会費	150,000	JP労組一般会計以外の経費（女性別枠等）
幹事会費	300,000	上記と同じ（幹事会補助・四役会議等）
会議費	500,000	支部代表者会議、勉強会、会場費等
友誼外郭団体費	210,000	連合新潟高齢協等活動経費
組織対策費旅費	530,000	支部総会、支部訪問、会員訪問、交流会、監査等
情報関係費	335,000	機関紙4回（印刷費及び送料、旅費等）
教育文化費	25,000	連協サークル活動補助等
事務費	240,000	消耗品費、通信費、事務費、振替手数料等
自払手数料	47,300	ゆうちょ自払手数料1,892件×25円
予備費	803,791	
合 計	3,141,091	

◎連協総会費及び連協幹事会費（年4回）はJP労組一般会計より措置されます。

2016年度JP労組新潟連協退職者の会組織慶弔会計予算（案）

(2016年4月1日～2017年3月31日)

【組織慶弔会計収入の部】

項 目	予 算 額	摘 要
繰越金	2,939,401	
会費	1,053,000	2,106名×500円
雑収入	280	利子
合 計	3,992,681	

【組織慶弔会計支出の部】

項 目	予 算 額	摘 要
喜寿祝い給付金	370,000	74名（該当者）×5,000円
米寿祝い給付金	190,000	38名（該当者）×5,000円
香典給付金	380,000	76名×5,000円
事務経費	94,000	188件×500円
繰越金	2,958,681	次年度繰越
合 計	3,992,681	

2016年度JP労組新潟連協退職者の会共済交付金特別会計予算（案）

(2016年4月1日～2017年3月31日)

【共済交付金特別会計収入の部】

項 目	予 算 額	摘 要
共済交付金	500,000	共済本部
インセンティブ	113,000	JP共済信越地方部（新規加入）
雑収入	10	利子
合 計	613,010	

【共済交付金特別会計支出の部】

項 目	予 算 額	摘 要
支部交付金	421,200	会費納入人員2,106名×200円
インセンティブ	113,000	支部（ブロック）交付
連協支出金	78,810	支部代表者会議経費等
合 計	613,010	